

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）
施策の柱	健康づくり

●目指す姿

- 市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、運動、栄養、休養のバランスの取れた生活習慣を身につけ、主体的・積極的に健康づくりに取り組むことで、健康寿命の延伸が図られています。
- 家庭・地域・学校等において、食を通じた心身の健康と豊かな人間性を育む取り組みが行われています。
- こころの健康に対する正しい知識を身につけ、市民それぞれが、自分にあったストレス解消法を身につけています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）日頃から、健康維持のために何かに取り組んでいる市民の割合	60.5% (H26)	－	62.4%	－	63.9%		UP	健康管理課
（客）人口10万人当たりの三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）による死亡率（年間）	52.7% (H24)	50.9%	55.4%	52.0%			50.0%以下	健康管理課
（客）各種健康講座の参加者数（年間）	5,033人 (H25)	5,791人	6,265人	6,385人			5,500人	健康管理課

●施策の方向性①健康寿命の延伸に関する啓発

事業番号	41101	事業名	健康づくり啓発事業	担当課	健康管理課
事業概要	健康のつどい等を通じて、「自分の健康は自分で守り、つくる」ための望ましい生活習慣の情報提供や実践方法などの普及啓発に努め、健康寿命の延伸を図る。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 「元気があふれる健やかなまち～よい睡眠でからだもこころも健康に～」をテーマに「各務原市健康のつどい」を開催し、健康講話や健康相談、検査コーナーなどの参加を通し、自分の健康は自分で守る事や、つくる意識をもていただく機会を提供している。 【課題】 参加者の多くは高齢者であり、若い層の参加が少ないため、幅広い層の参加を促す。 【対策】 新規参加者及び高齢者層以外への参加を呼び掛けるため、幼稚園や保育所へのチラシの配布、ポスターの掲示、広報やウェブサイトなどによる周知をしている。また、若い世代の方に興味をもってもらえるような内容となるよう見直していく。 平成30年度より健康のつどいと同日に同施設内あすかホールにおいて、イベント（親子のスポーツテスト）を開催し47世帯（91人）の参加があった。引き続き、若い世代から健康づくりに関心を持って実践していけるよう、普及啓発に努める。				

●施策の方向性②健康づくり活動への支援

事業番号	41201	事業名	健康づくり活動支援事業	担当課	健康管理課
事業概要	健康に関わるボランティア団体や保健・福祉・医療関係の団体等と連携し、健康講座、健康づくり教室の拡充を図る。 栄養教室や健康講座を通じて、健康づくりに対するきっかけを提供するとともに、健康増進の取り組みに対する正しい知識の普及啓発を行なう。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 妊婦を対象にマタニティスクール、ハッピー子育て講座や、2歳児歯科教室での歯科保健教室、中学生を対象とした喫煙予防教室を行っている。また、ボランティア団体や保健・福祉・医療関係の団体等と連携した生活習慣予防教室、健康福祉講座などを行っている。 【課題】 健康に対する情報は、比較的容易に得やすいが、正しい知識で自分にあった方法で健康づくりを実施していくことが必要である。参加者は増加傾向にあるが、若い世代の参加が少ない傾向にある。 【対策】 多くの方が参加していただけるよう、会場や開催内容の見直しを図り、若い世代の参加者増加を図るため、平成30年度より、小学3、4年生の親子を対象とした親子のスポーツテスト(6月、10月の2回開催)や親子ウォーキングGoGo!(10月、12月の2回開催)を実施するなど、子どもを通じて親世代の参加を呼びかける。				

●施策の方向性③食を通じた健康づくりの推進

事業番号	41301	事業名	食の健康推進事業	担当課	健康管理課
事業概要	食生活改善協議会等と連携し、食生活に対する正しい理解と望ましい習慣が身につけられるよう、食の重要性に関する意識啓発を地域で推進する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 各種事業や健診等で、健康や食生活について望ましい知識や習慣が身につくよう普及啓発をしている。 食生活改善推進協議会においては、一般市民に対しての栄養改善をめざして広く活動している。 【課題】 各種健診や教室等に参加しない、健康に関心の低い層に対する意識啓発が必要である。 【対策】 今後も広報紙やホームページ、栄養教室や特定保健指導など様々な機会を活用し、自身の健康について関心を持っていただくよう意識啓発を行う。また、毎年開催している健康のつどいにおいて食生活改善協議会と連携し、関心の高いテーマ(減塩・野菜ファーストなど)についての啓発活動(試食・リーフレットの配布など)や相談などを実施していく。				

●施策の方向性④こころの健康の保持・増進

事業番号	41401	事業名	こころの健康推進事業	担当課	健康管理課
事業概要	悩みや心配をひとりで抱えこまないよう、こころの健康に関する相談窓口の周知やこころの健康の保持増進のための知識の普及啓発を図る。また、自殺対策の取り組みを推進していく。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 市ウェブサイト「こころの体温計」を開設し、セルフストレスチェックと専門機関の窓口の紹介をしている。利用者数を増加させるため、ウェブサイトのトップページに掲載する等、本人や家族等が、こころの不調に早く気づき、適切な専門機関へ早期につながるよう周知を図っている。 【課題】 本人や家族だけでなく、地域や職場などでも、こころの不調に早く気づき、適切な対処ができるよう正しい知識や相談機関先の普及啓発を図る必要がある。 【対策】 こころの健康に関する相談窓口について、市のウェブサイトをはじめ、広報、チラシ等で周知していく。また、本人はもちろん、家族や職場、地域が、こころの不調に早く気づき、適切な対処ができるよう講演会やチラシ等で知識の普及啓発を図る。 また、自殺対策計画を策定(平成31年3月予定)し、自殺対策が、死なせないだけでなく、「生きることの包括的な支援」として、全庁的な取り組みとなるよう、庁内の連携を強化していく。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）
施策の柱	保健・予防

●目指す姿

- すべての市民が、各年代の特徴を活かした保健予防活動を行い、効果的な健康増進が図られています。
- 歯と口腔の健康について正しい知識を持ち、生涯にわたって歯を健康に保つための活動に取り組んでいます。
- 安心して妊娠・出産できる環境が整っていると同時に、子どもが健やかに育つ環境が整備されています。
- 新たな感染症に対する適切な予防対策がとられており、不安なく生活することができます。
- 身近なところでいつでも健康相談ができます。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）定期的に健康診査を受けている人の割合	71.4% (H26)	－	69.1%	－	75.8%		UP	健康管理課
（客）特定保健指導実施率（年間）	15.6% (H24)	16.6%	15.0%	19.8%			35.0%	健康管理課
（客）40歳代及び50歳代の歯周疾患検診の受診率（年間）	6.0% (H25)	4.1%	2.7%	2.8%			9.0%	健康管理課

●施策の方向性①生活習慣病等予防の推進

事業番号	42101	事業名	生活習慣病予防事業	担当課	健康管理課
事業概要	健康診査やがん検診等について、誰もが受けやすい健診となるよう実施方法、期間などの工夫を図り、疾病の早期発見・早期治療に努める。			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 各種健診やがん検診の受診率向上のため、チラシの全戸配布、乳幼児健診時の保護者への勧奨、全国健康保険協会や生命保険会社との連携協定による顧客への勧奨、がん検診無料クーポン券等の個別勧奨を行っている。また検診後の保健指導について、生活習慣病予防教室や健康相談、訪問指導等を実施し、疾病の早期発見・治療に努めている。 肺がん・結核検診について、東海中央病院のみで実施していたが、平成29年度からは市内の指定医療機関でも受診できるよう検診体制の整備を図った。 【課題】 健（検）診等の受診率の伸び悩みが見られる。また、要精検者について、確実に受診に結び付ける必要がある。 【対策】 各種健診やがん検診の受診者の増加を図るため、周知啓発や受診勧奨に加え、健康ポイント事業や個別通知を実施する。また、精密検査の未受診者に対し受診勧奨を継続実施する。 特定保健指導対象者の実施率向上のため、未利用者について個別通知や電話、家庭訪問などによる更なる利用勧奨を進めていく。				

●施策の方向性②歯の健康の保持・増進

事業番号	42201	事業名	歯科保健事業	担当課	健康管理課
事業概要	生涯を通じて、健康な口腔を維持できるよう、各年齢層に応じた歯科検診・歯科健康教育・歯科相談を実施し、歯科(口腔)保健サービスの推進を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状・課題・対策	【現状】 各保健事業等の機会を通して、乳幼児期の成長発達に伴う口腔機能の育成支援及び歯と口腔の健康と全身の健康の関連性の啓発を行っている。また、歯の健康手帳・健康手帳等を活用した定期的な歯科検診受診により、歯と口腔の健康管理を周知している。 【課題】 各歯科保健事業を通して、幼児期から家族そろって「かかりつけ歯科医」を持つことを啓発しているが、成人期以降に、継続的な定期歯科検診に繋がる健康教育を効果的に実施することが課題である。 【対策】 引き続き、乳幼児健診の保護者への受診勧奨やがん検診等の受診勧奨を行う。H29までは、がん検診の案内文書に歯科検診の通知を同封していたが、H30より歯科検診単体の通知を検討している。				

●施策の方向性③母子保健の充実

事業番号	42301	事業名	母子保健推進事業	担当課	健康管理課
事業概要	誰もが安心して出産・育児が行なえるよう妊娠期から子育て期の健康診査や健康相談等の充実を図り、子育てに関する正しい知識・情報を提供し、家族が協力しあって子育てをすることの楽しさ・重要性を啓発する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度から、マタニティ広場の一部を助産師会へ委託し、妊娠期から出産、出産後の知識の普及と不安の軽減に努め、受講者は増加している。夫の参加も増えている。産後1か月健診や母乳育児相談の助成についても認知されつつある。乳幼児健診の未受診者に対しては母子保健推進員の受診勧奨などにより、高い受診率(H29 96.3%)を維持している。 【課題】 安心して出産・育児が行えるよう、マタニティ広場などの講座や健康診査、健康相談等を行い、子育てに関する正しい知識・情報を提供しているが、出産育児に関して母親の持つ疾患や家庭環境等により、ハイリスクとなる妊婦に対する支援が乏しい。 【対策】 母子健康手帳の交付時に、講座や健診、相談等の周知を積極的に行うとともに、出産育児に関してハイリスクとなる妊婦に対しては、子育て支援課等と連携し、妊娠期から継続して支援できるよう、平成30年4月から、妊娠・出産・子育て支援の総合相談窓口として、母子健康包括支援センターを開設した。今後も関係機関と連携しながら更に充実した体制を整えていく。				

事業番号	42302	事業名	不妊治療費助成事業	担当課	健康管理課
事業概要	晩婚化により不妊治療を行なう夫婦が増加傾向にある。子どもを産み育てたい夫婦の経済的、精神的負担の軽減を図るとともに、妊娠・出産することで、少子化対策に努める。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 保険適用外の不妊治療に対し、その費用の一部を助成している。平成28年度から一般不妊治療費助成に加え特定不妊治療費助成、男性不妊治療費助成を開始した。晩婚化等により、不妊治療を行う夫婦が増加している。制度の利用者は年々増加傾向にあり、助成申請された方の妊娠率も年々上がっている。 【課題】 不妊治療の助成には、年齢制限や回数制限があることから、ウェブサイトや広報等で不妊治療や費用の助成制度について周知していく必要がある。 【対策】 引き続き広報紙やウェブサイト、女性の健康相談等で不妊治療の知識の普及に努める。また、特定不妊治療費助成制度は、県の補助事業でもあることから、保健所と連携し周知していく。				

●施策の方向性④感染症予防対策の推進

事業番号	42401	事業名	感染症予防対策事業	担当課	健康管理課
事業概要	感染症の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、幼児及び成人の感染症の発生・まん延を防ぐ予防接種を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 感染症の予防に関する正しい知識の普及を図るとともに、幼児及び成人の感染症発生・まん延防止のための予防接種を行っている。また、乳幼児健診などで、接種の確認・勧奨を行っている。 【課題】 幼児期以降の予防接種については、短期間での継続した予防接種ではなくなるため、親の意識により接種率が低くなる傾向があり、未接種者を対象とした個別勧奨が必要である。 【対策】 個別に勧奨通知を行うとともに、乳幼児健診・相談・家庭訪問などにおいて継続して説明・勧奨を行う。				

●施策の方向性⑤健康づくりを支援する環境の整備

事業番号	42501	事業名	保健相談センター運営事業	担当課	健康管理課
事業概要	市民が身近な場所で健康相談や健康に関する情報を知ることができるよう、相談拠点の整備、機能強化を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 市民の健康づくりを支援する東部地区の拠点である東保健相談センター開設(平成29年4月)に伴い、2拠点体制で本格的に健診・相談等各種保健事業を開始した。同施設には、子ども館や鶴沼市民サービスセンターが併設されており、市民の利便性は向上している。 【課題】 マタニティ広場や乳児健診の実施により、東保健相談センターの浸透はされてきている。身近で利用しやすい健康づくりの拠点施設として、今まで機会がなく、利用したことのない市民に対し、更なる周知を行き届かせる必要がある。 【対策】 広報やウェブサイトを利用し、東保健相談センターで開催される健診・相談等の周知を継続的に行い、健診機会の充実など、市民の利便性向上を進める。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	元気があふれる健やかなまち（保健・医療）
施策の柱	地域医療

●目指す姿

●必要な時に、必要な医療を受けることができる環境が整っており、安心して生活を送ることができます。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）かかりつけ医がいる市民の割合	57.5% （H26）	－	55.6%	－	60.2%		UP	健康管理課
（客）市内医療機関で訪問診療を実施している医療機関の割合	71.3% （H26）	71.3%	75.3%	74.8%			75.0%	健康管理課

●施策の方向性①かかりつけ医制度の推進

事業番号	43101	事業名	かかりつけ医普及・啓発事業	担当課	健康管理課
事業概要	日常的な健康管理や疾病予防、健康に対する相談ができる身近な医師である「かかりつけ医、かかりつけ歯科医」の普及・定着を図る。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 市が実施する健康診査、各種検診等の受診の機会を通じて、市民へ「かかりつけ医」を持つように啓発している。 【課題】 疾病の早期発見や重症化予防に資するため「かかりつけ医」を持つことの有用性が十分に浸透していない。 【対策】 医療機関や関係部署と連携し、市が実施する健康診査、各種健診等の受診の機会を通じて、今後も「かかりつけ医」を持つための啓発を実施していく。				

●施策の方向性②救急医療体制の充実

事業番号	43201	事業名	休日急病診療体制充実事業	担当課	健康管理課
事業概要	休日でも安心して医療を受けられるように、休日急病診療所及び休日在宅歯科診療当番制の運営を行うとともに、県や近隣自治体と連携し、救急時の医療体制確保に努める。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 市医師会・薬剤師会の協力により休日急病診療所を開設し、また、歯科医師会の協力により在宅当番医制で歯科診療所を開設し、休日における救急医療体制の確保を行っている。 【課題】 今後も安定した休日診療体制を整え、継続して運営していく必要がある。 【対策】 医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携を図りながら、運営を継続する。				

事業番号	43202	事業名	東海中央病院改築助成事業	担当課	健康管理課
事業概要	市民病院的役割として、また二次病院として高度な医療が提供できる東海中央病院の活用が促進されるよう、地域医療環境の整備を促進する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 公的病院としての性質を担う東海中央病院の施設・設備改築事業に対し、「公立学校共済組合東海中央病院の増改築に関する協定書」を平成19年度に締結し、財政的支援(負担金)をしている。 【課題】 地域における市民の医療に対する不安解消や、良質な医療を提供するための地域医療体制を維持していく必要がある。 【対策】 協定書で定めている期間(H19～H31)まで、東海中央病院への支援を継続する。				

●施策の方向性③地域医療体制の整備

事業番号	43302	事業名	各務原市准看護学校支援事業	担当課	健康管理課
事業概要	市内医療機関の看護師体制の充実を図るため、准看護師の育成を目指す各務原市医師会准看護学校の運営を支援する。			担当課 評価	事業の達成指標 に対して順調に 進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 地域医療の充実に貢献するため、准看護師の育成を行っている各務原市医師会准看護学校に対し、運営に係る支援(補助金)を行っている。 【課題】 市内医療機関の看護師体制を充実させるためには、より多くの卒業生が市内の医療機関に従事するよう働きかけをしていく必要がある。 【対策】 准看護学校に対して、進路指導などの機会において、市内医療機関の求人情報の提供など、市内の看護師体制の充実を図るための働きかけをするよう、今後も要望していく。				